

Racing Topics

★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

●戸崎圭太騎手がJRA年間100勝を達成

9月14日(土)の4回中山3日・第4レースではバギーウィップが1着となり、同馬に騎乗した戸崎圭太騎手(美浦・田島俊明厩舎)は、本年度3人目、自身3年連続10回目となるJRA年間100勝を達成しました。

●角田大和騎手がJRA通算100勝を達成

9月16日(祝・月)の3回中京5日・第1レースではヴァカンツァが1着となり、同馬に騎乗した角田大和騎手(栗東・角田晃一厩舎)は、現役92人目となるJRA通算100勝(1869戦目)を達成しました。

●吉田直弘調教師がJRA通算300勝を達成

9月14日(土)の4回中山3日・第11レースとして行われた初風Sではエティエンヌが1着となり、同馬を管理する吉田直弘調教師(栗東)は、現役69人目となるJRA通算300勝(延べ4297頭目)を達成しました。

●北海道サマーセール開催

8月19日(月)から24日(土)にかけて、北海道新ひだか町の北海道市場において「2024サマーセール(主催:日高軽種馬農業協同組合)」が開催されました。上場された1187頭(牡633頭・牝554頭)のうち977頭(牡548頭・牝429頭)が落札され、売却率は82.31%、売却総額は71億3460万円。最高価格をつけたのは、牡馬がダンシングロイヤル2023(父ヘニーヒューズ/近親に函館2歳S2着のジョイフルスマイル)で3520万円、牝馬がレディマドンナ2023(父ヘニーヒューズ/近親に米G1馬カルペディエムなど)で5280万円でした(金額はいずれも税込)。

★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

●オーバルスプリント(浦和)でスマイルウィがJpnⅢ初制覇

オーバルスプリント(JpnⅢ、9月18日、浦和、1400m)は、3番手から直線に入って間もなく抜け出した5番人気の船橋所属馬スマイルウィ(矢野貴之騎手=大井、牡7歳、父エスポワールシチー)が、単勝1.9倍で1番人気のスレイマンを抑えて優勝。サンライズホークは3着、イーグルノワールは4着、2番人気のテーオーステルスは5着に終わっています。

●ヤングジョッキーズシリーズトライアルラウンド名古屋の結果

2024ヤングジョッキーズシリーズトライアルラウンド名古屋は9月18日に行われ、第1戦は長江慶悟騎手(笠松)、第2戦は望月洵輝騎手(愛知)が制しました。

●日本テレビ盃(船橋)にウシュバテソーロ、デルマソトガケが登場

日本テレビ盃(JpnⅡ、9月25日、船橋、1800m)は、ウシュバテソーロとデルマソトガケのアメリカ遠征を見据えた2頭が双壁、メイショウハリオ、ウィリアムバローズが続きます。

●9月23日の白山大賞典(金沢)は帝王賞3着のディクテオンが有力

白山大賞典(JpnⅢ、9月23日、金沢、2100m)は、ディクテオンが筆頭格、ダイシンピスケス、メイショウフンジンが迫り、サンマルパトロール、テンカハルまでが争覇圏内と考えられます。

●アンモシエラらが参戦、9月26日のマリーンC(船橋)

今年から3歳牝馬限定戦に変更され、4月から移動したマリーンC(JpnⅢ、9月26日、船橋、1800m)は、東京ダービー3着のアンモシエラと関東オークス馬アンデスピエントの初対決が焦点となり、以下テンカジョウ、クラヴィコードの順に有力視されます。

★海外競馬ニュース 文・秋山響★

●香港のゴールデンシックスティが引退

香港の歴史的名馬であるゴールデンシックスティ(騾9歳、父メダリアドロ、K.ルイ厩舎)の引退が現地9月13日に発表されました。ゴールデンシックスティは2020、21、23年と3勝を挙げた香港マイル(芝1600m)、21~23年まで3連覇したチャンピオンズマイル(芝1600m)など香港調教馬の最多記録となるG1・10勝を挙げ、香港年度代表馬のタイトルも史上初めて3年連続獲得(20/21~22/23年)。総獲得賞金は1億6717万6000香港ドル(現在のレートで約33億7684万円)に上り、これは世界最多記録となっています。今後は北海道のノーザンホースパークで余生を過ごす予定です。

●G1アイリッシュチャンピオンS~エコノミクスが優勝

9月14日にアイルランドのレパーズタウン競馬場で行われたG1アイリッシュチャンピオンS(3歳上、芝2000m)は、T.マーカンド騎手を背に中団の外でレースを進めたエコノミクス(牡3歳、父ナイトオブサンダー、英W.ハガス厩舎)がオーギュストロダンとの競り合いをクビ差しりぞけて優勝しました。日本から遠征したシンペラーは最後に差を詰めましたが、2着馬から3/4馬身差の3着に終わりました。勝ったエコノミクスは今年4月のデビュー2戦目で挙げた初勝利から4連勝でのG1制覇。重賞はG2ダンテS(芝2050m)、G2ギョームドルナノ賞(芝2000m)に続く3勝目です。